

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	15014	事務事業名	公園緑地一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】	%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公園緑地等の適切な維持管理によって、地域の景観や良好な居住環境を確保するため、ソフト面を主体として事務事業を推進する。		意図(どういう状態にしたい): 公園緑地等の維持管理に必要な事務事業を実施し、公園緑地環境の適切な保全を図る。		事業の内容 (手段)	・公園緑地等の管理車輛の維持管理(パッカー車2台・クレーン付トラック1台・軽トラック1台) ・公園関係団体負担金(日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・公用車5台(パッカー車3台・クレーン付トラック1台、軽トラック1台)の車検 ・日本公園緑地協会負担金 ・全国都市公園整備促進協議会負担金 ・放置自動車の処理事務等 ・公園緑地に係る一般事務						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	2,295	2,486	2,313	2,290		2,290								
事業目標	目標名	公園緑地協会加入団体数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	2,263	2,454	2,281	2,258	2,258		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,324	2,539		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	(決算額)	うち一財	千円	2,324	2,502					
	実績値	1,133.0	1,069.0	1,018.0			正職員人件費	千円	2,710	3,476						
	達成度(%)	83.9%	79.2%	75.4%			人工数	人	0.37	0.47	0.47					
							支出コスト	千円	決) 5,034	決見) 6,015						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	公用車の維持管理 (経常的事務事業)	公園緑地等の管理車輛	所有する公用車の適切な維持管理	公用車の効率的で効果的な管理運用	・公用車修繕件数 15件853千円	正職員	0.3	臨時等	0	直接事業費	2,446	委託	否	臨時嘱託	否
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・ごみ回収のパッカー車は、清掃事務所より譲り受け、購入後10年以上を経過しているため老朽化に伴う修繕費が一層増加している。 ※平成26年度パッカー車修繕料 9件602千円				B	改善案	・パッカー車の老朽化に伴う更新							
	②	負担金納付事務 (経常的事務事業)	日本公園緑地協会、全国都市公園整備促進協議会	公園緑地に関する全国規模の多様な情報の収集	公園緑地等の効率的な管理運営の実施	・日本公園緑地協会及び全国都市公園整備促進協議会への運営費の一部負担	0.01	0	92	否	否					
		細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・全国レベルで得られる公園緑地等に関する情報の実施事業への反映手法				B	改善案	得られた情報を整理・分析するなどして、公園緑地事業に生かす。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	③	放置自動車対策事務 (施設管理運営事業)	公園緑地等への放置自動車	公園緑地等の景観と機能を保持し、市民の快適な利用環境を確保する。	放置自動車の発生の防止及び適正な処理	公園緑地内の定期的な巡回確認と放置自動車の処理	0.16	0	1	否	否			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題 ・所有者の追跡、確認には、事務手続きと相当の期間を要する。 ・放置される場所は、固定化傾向にあり、複数の自動車が放置されたり、撤去しても新たな車が放置される状況である。						B	改善案	・周南市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例に基づき適正な対応を行う。					
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	所有する公用車については、毎年故障が発生し、臨時経費が必要となっている。	前年度までの指摘事項	日本公園協会の負担金については、市として有用な情報が得られるか常に検証をする必要がある。	指摘事項に対する改善状況	社会情勢の変化に対応し、地方の特性に合う公園の管理運営を推進する必要がある。そのためにも、公園緑地事業の視野を広げ、全国の先進情報をまちづくりを生かしたい。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 公用車の老朽化に伴う修繕費の増加 パッカー車は特殊車両であり、必要経費（保険料、車検料、修繕料、公租公課費等）の維持経費が割高であること。 所有者の追跡、確認には、事務手続きと相当の期間を要すること。 放置される場所は、固定化傾向にあり、複数の自動車が放置されたり、撤去しても新たな車が放置される状況である。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 公園のごみ収集作業は、パッカー車がないと成り立たないため、故障すれば業務の休止に追い込まれることから、3台を段階的に更新していく必要がある。 		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公園緑地等を適切に維持管理する上では、ハード、ソフト両面からのバックアップが必要不可欠である。	改善案	予防保全的な観点に立って、維持管理を推進する。
----	---	---	------	---	-----	-------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	いづれも公園施設の維持管理を行ううえで、必要な事務事業であり、今後も必要性、効率性を勘案し取組んでいく。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
所有公用車の自賠責保険料や公園施設管理などの事務的経費である。平成28年度は、県外出張は公用車使用のため減額(△26千円)。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271005	事務事業名	公園・街路樹維持管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): ・周南市都市公園163箇所 ・街路樹50路線5,100本	意図(どういう状態にしたい): 公園の維持管理体制の充実を図り、誰もが安全安心に利用できるように維持管理を行う。 街路樹の維持管理においても緑の保全と景観、交通の安全に配慮し適正な管理を行う。	事業の内容(手段)	管理する公園の概要 (163箇所70.2ha) 【公園の種類】街区公園136箇所26.5ha、近隣公園14箇所36.8ha、都市緑地8箇所2.5ha 普通公園3箇所2.8ha、緑道1箇所1.6ha 【業務内容】公園全般の管理、樹木の管理、公園施設の管理、有料施設の管理・運営、公園緑地の使用及び占有許可、公園使用料等の収納、トイレの清掃・管理、街路樹の管理他 【管理体制】嘱託職員5名雇用		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	都市公園及び街路樹の維持管理を実施 (1)公園施設維持管理業務委託 49件 (公園樹木・設備・便所・運動施設等) (2)街路樹維持管理業務委託 50路線 6件 (3)公園施設維持修繕 77件 (4)公園施設・街路樹維持工事 20件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	110,293	113,684	115,938	119,421		119,421						
事業目標	目標名	維持公園数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	106,471	110,188	111,290	114,897	114,897
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	109,771	113,492	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	161.0	163.0	163.0	163.0	163.0	(決算額)	うち一財	千円	101,863	106,065	樹木等維持管理委託料及び公園・街路樹維持工事の増		
	実績値	162.0	163.0	163.0			正職員人件費	千円	14,357	16,417				
	達成度(%)	100.6%	100.0%	100.0%			人工数	人	1.96	2.22	2.89			
							支出コスト	千円	決) 124,128	決見) 129,909				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	嘱託職員雇用事務 (施設管理運営事業)	都市公園163箇所 街路樹50路線5,100本	公園施設等の日常的な維持管理業務	適正な公園・緑地の維持管理	嘱託職員5名雇用 業務内容:ごみ回収、点検による施設修繕、草刈・剪定作業、トイレ清掃等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題	人員、人材の確保					B	改善案	雇用の継続					
②	公園愛護会事業 (ソフト事業)	都市公園、普通公園	地域の住民が主体となった身近な公園の自主管理	市民協働による公園・緑地の維持管理	公園愛護会135団体、公園愛護会講習会開催、公園愛護会報償金135団体2,162千円	0.5	0	2,162	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
細事業の課題	地域活動の一環として、公園の清掃、除草などの美化活動が公園愛護会で行われているが、少子高齢化や地域コミュニティの低下に伴い、組織の解散や活動を休止する団体もあり、継続的な地域での維持管理が難しくなっている。					B	改善案	・新たな担い手づくり ・公園は地域の財産であるという意識の醸成 ・愛護会活動の住民への周知						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	公園街路樹維持管理 (施設管理運営事業)	都市公園163箇所 街路樹50路線5,100本	公園・緑地の適正な維持管理	安心安全で快適な公園環境の保持と街路樹による良好な景観と居住環境の創出	街路樹・公園施設の管理、有料施設の管理・運営、公園使用料の収納、トイレ清掃等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							1.66	4.4	102,148	可	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市民のニーズの変化に対応していくために管理手法や検討や予算の確保が必要。					細事業評価					
						B	改善案	街路樹管理マニュアルに沿って適正に管理していくこと。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為等に伴う都市公園も年々増えており、市民の要望、苦情も多様化、増加している。 遊具等、公園施設に対する安全基準、安全確保の指針が制定強化されたことから、その対応が必要となっている。 ※H20.8月「都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改訂版)」 	前年度までの指摘事項	公園愛護会制度、嘱託職員、正職員による維持管理を組み合わせて行われているが、より効果的な管理手法を検討すること。 街路樹の維持管理については、効率的効果的な維持管理を行うため、24年度中に維持管理計画を策定されたい。	指摘事項に対する改善状況	平成25年度、26年度で街路樹維持管理マニュアルを作成し、今後の効果的な維持管理に活用する。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 現状では、公園施設の損傷等が発生してから対応するといった受動的な対応であるが、公園施設長寿命化計画を作成し、計画的な施設修繕を行い、施設の延命を図る必要がある。 遊具点検の結果や市民からの要望等を受け、公園施設の補修・改修等を行っているものの、未対応ストックは増加している。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 163箇所の都市公園は、約半数が設置後25年を経過し、施設が老朽化している。 公園や街路樹は、公園愛護会等市民との協働による維持管理を進めてきているが、地域住民の高齢化等により愛護会が解散するなど、市民参画の拡大が進まない状況にある。また、維持管理に対する市民の要望の多様化により、対応に係るコストは大きく増加している。 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公園を安全かつ快適に利用してもらうため、遊具その他施設の安全点検、修繕、トイレの清掃等維持管理を適切に行い、利用者の安全確保に努める。	改善案	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き公園を安全かつ適正に管理するため、予防保全的な維持管理を推進する。 施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にあるが、定期的な巡回を行い、簡易的な修繕や樹木の剪定等については、職員及び嘱託職員で行い、トータルコストとプライオリティーに基づく維持管理を実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	良好な景観や生態系の保全等の機能を維持するため樹木の管理マニュアルを作成し、委託業者等への指導を行うなど効率的かつ適正な維持管理を図る。 また、公園愛護会活動の充実を図り、市民協働のまちづくりによる総合的な維持管理費の縮減を図っていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
緑の景観と健全な環境を保全するため、街路樹の適切な管理を行うことは必要である。平成26年度は街路樹維持管理マニュアルを策定し、平成27年度以降は、これに基づいた効率的かつ効果的な維持管理を進めている。現在街路樹の生育等に絡む様々な課題が発生しているため、そのことを踏まえ、平成28年度は迅速かつ適切な対応ができるように、街路樹の維持管理業務の見直しを行った。街路樹維持管理業務料の増(1,306千円)、公園・街路樹維持工事の増(2,300千円) また、平成27年度に公園愛護会の新規結成が10団体あり報償金増(160千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271008	事務事業名	永源山公園管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】 %
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 永源山公園(総合公園)	意図(どういう状態にしたい): 永源山公園の適正な維持管理を行い、レクリエーションやコミュニティの場として安全安心で、気軽に利用できる公園とする。	事業の内容(手段)	永源山公園の概要 【公園の種類】都市計画公園(総合公園) 開園面積:18.0ha 【主要施設】市制広場他14広場、各種遊具、レジャープール、風車、野外ステージ 公園管理事務所、軽飲食施設他 【樹木等】つつじ、桜、ケヤキ、モミジ、クスノキ 【開園時間】常時開園 【駐車場】200台 【管理運営】指定管理(グリーン環境協同組合)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	永源山公園の維持管理を実施 (1)永源山公園指定管理委託 [H23~H27:グリーン環境協同組合] (2)公園施設維持修繕 3件 (3)公園施設維持修繕工事 4件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	63,108	60,236	56,229		57,816	57,816					
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	56,048	53,030	48,428	51,035	51,035
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	61,741	59,133		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	330,000.0	330,000.0	330,000.0	330,000.0	330,000.0	(決算額)	うち一財	千円	54,374	54,220	公園施設維持修繕工事の増		
	実績値	324,000.0	353,464.0	334,000.0			正職員人件費	千円	7,472	7,469				
	達成度(%)	98.2%	107.1%	101.2%			人工数	人	1.02	1.01	0.90			
							支出コスト	千円	決) 69,213	決見) 66,602				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	指定管理事業 (施設管理運営事業)	永源山公園の指定管理対象施設	指定管理者による効率的な管理運営	サービス向上による公園利用者の増加と管理経費の節減	公園の管理運営業務 公園利用者アンケートの実施	0.25	0	55,626	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公園を訪れるリピーターの増加を目指すとともに、新規利用者のための効果的な集客手段の検討が必要となっている。					B	改善案	・集客に効果的な自主事業や広報を行うとともに、魅力ある公園を創出し、更なるリピーターの利用につなげたい。 ・利用者満足度調査では概ね高い評価結果が得られている。利用者の意見を把握し、改善すべき所は改善に努め、サービスの向上につなげたい。					
	②	松くい虫駆除事業 (施設管理運営事業)	永源山公園の松林	松くい虫の駆除による被害の防止	永源山公園の松林の保全	薬剤樹幹注入 0本	0.1	0	0	可	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 松くい虫による被害の縮小と松林の維持を図るため、予防駆除を進める。					B	改善案	・山口県松くい虫被害対策自主事業補助金を活用し、継続して松林の保全を進める。薬剤の効能が伸び平成26年度は実施せず。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③	その他維持管理事業 (施設管理運営事業)	永源山公園施設	公園施設の適切な維持管理	公園利用者の安全安心の確保と良好な公園環境の保持	(施設修繕工事) 永源山公園ライトアップ制御盤改修工事外	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
							0.66	0			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 開園後、相当年数が経過していることに伴い、公園施設の老朽化が進行している。					B	改善案	・指定管理者と連携した維持・修繕工事の実施 ・指定管理者の募集(平成28年度～5年間) ・軽飲食施設の経営者の募集・決定(H26年度～3年間)			
④											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	開園(昭和60年)後約30年が経過しており、施設の老朽化が進み、長寿命化の観点に立った計画的な改修が必要。 平成20年度から指定管理制度を導入している。	前年度までの指摘事項	指定管理者との連携を強化し、民間のノウハウや提案を生かすことで市民の満足度をたかめられたい。 老朽化した施設の計画的な改修は必要であるが、厳しい財政状況が予想される中、全てを維持・補修することは不可能であり、必要最小限にとどめること。	指摘事項に対する改善状況	利用者アンケートを実施し、市民の意識と意見等を把握し、サービスの向上に生かしている。また、今後は長寿命化計画に基づく施設の維持・補修を進める。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の開拓 園内の松くい虫対策の継続 開園後、相当年数が経過していることに伴い、施設の老朽化が進行している。 	事業全体の課題・問題点	平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、トータルコストとプライオリティーに基づいた維持・補修を進める。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	指定管理者には、民間の能力を十分に発揮し、弾力性や柔軟性のある施設運営が行えるよう市との連携を密にし、管理運営経費の削減に努めたい。また、計画的な予防修繕を実施し、安全性の確保とともに、トータルコストの縮減と平準化を図る。	改善案	指定管理者による業務実績を検証し、検証結果を基に予防保全的な維持管理を実施することにより、より効率的な管理運営を進める。
----	---	---	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	公園施設の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減に向けて、予防保全的管理による長寿命化対策を含めた計画的な改修等を進めていく。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

永源山公園施設の維持修繕工事については、平成27年度から実施している公園施設長寿命化対策事業との調整を図りながら、優位性を考慮し、効率的な改修・改築工事等を計画的に進める。公園施設維持修繕工事費の増(2,000千円)。松くい虫駆除事業委託料は平成28年度駆除対象本数が減(△408千円)。永源山公園指定管理は、平成28年度～平成32年度の5年間、引き続き「グリーン環境協同組合」へ委託する。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271009	事務事業名	周南緑地管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】 %
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南緑地(緩衝緑地)	意図(どういう状態にしたい): 周南地域の中核となる都市公園であり、適正な維持管理を行い、スポーツ交流の拠点、憩いの空間として市民に親しまれ、安全安心で、気軽に利用できる公園とする。	事業の内容(手段)	周南緑地の概要 【公園の種類】都市計画公園(緩衝緑地) 開園面積:79.6ha 【主要施設】西緑地26.8ha、中央緑地20.07ha、東緑地28.23ha、横浜緑地2.7ha、遠石緑地1.8ha 【駐車場】636台 【開園時間】常時開園 【管理運営】指定管理((公財)周南市体育協会)は、東緑地、中央緑地のみ。西緑地の維持管理は直営で実施している。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南緑地の維持管理を実施 (1)周南緑地(東・中央緑地)指定管理委託 [H23~H27:(公財)周南市体育協会] (2)緑地施設維持管理業務委託(緑地樹木・設備・便所等) 6件 (3)緑地施設維持修繕 19件 (4)緑地施設維持修繕工事 13件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	36,409	37,509	35,555	38,480		38,480						
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	36,409	37,503	35,549	38,474	38,474
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	37,954	38,839				
	目標値	300,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	(決算額)	うち一財	千円	37,810	38,835			
	実績値	301,000.0	300,000.0	300,000.0			正職員人件費	千円	8,277	7,395				
	達成度(%)	100.3%	100.0%	100.0%			人工数	人	1.13	1.00	1.04			
							支出コスト	千円	決) 46,231	決見) 46,234				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	指定管理事業 (施設管理運営事業)	周南緑地の指定管理対象施設	指定管理者による効率的な管理運営	サービス向上による公園利用者の増加と管理経費の節減	公園の維持管理業務 公園利用者アンケートの実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 指定管理事業の更新に伴い、周南緑地全体をまとめて管理を行なうことで効率化を図ること。												
		B	改善案	指定管理者及び文化スポーツ課と月例会を開催し、体育施設と緑地の一体的な管理を円滑に進めるため、協議検討を行っている。										
②	その他維持管理事業 (施設管理運営事業)	周南緑地の公園施設	公園施設の適切な維持管理	公園利用者の安全安心の確保と良好な公園環境の保持	西緑地ひょうたん池浚渫工事、周南緑地フレンドパーク人工芝設置工事外	0.6	0	20,874	可	可				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が進行しており、適宜修繕を行わなければならない。													
	B	改善案	大規模なイベントやスポーツ大会等の開催だけでなく、多くの市民が日常的に利用する施設であり、今後も気軽に利用できるよう適正な管理に努める。											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢化の進行や余暇時間の増大などにより、公園利用者の増加が予想され、市民の健康志向の高まりや防災に対する意識の高揚などからも、公園に求められる機能が多様化している。今後も引き続き誰もが利用しやすい適切な管理を進める必要がある。	前年度までの指摘事項	中央及び東緑地については、23年度より指定管理施設としての体育施設と一体的な管理を行っている。指定管理者評価制度を活用し、市民の利用しやすい環境になっているかチェックを行い、市民満足度の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	利用者アンケートを実施し、市民の意識と意見を把握し、修繕やサービスの向上に生かしている。
	細事業の課題・問題点	施設の維持に関して適切な予算の確保が必要。	事業全体の課題・問題点	平成22年度に策定した長寿命化計画及び周南緑地基本計画に基づき、トータルコストとプライオリティーに基づいた、計画的な維持・補修を進める。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	フレンドパークや庭球場、野球場等の整備や市民の健康志向の高まりにより公園の利用者は増加傾向にある。しかしながら、施設の老朽化に伴い今後は、計画的な予防修繕を実施し、安全性の確保とともに、トータルコストの縮減と平準化を図る。	改善案	指定管理者による業務実績を検証し、検証結果を基に予防保全的な維持管理を実施することにより、より効率的な管理運営を進める。
----	---	---	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	公園施設等については、長期的な社会動向を見極め、維持管理に係る将来計画を策定して、効率的・合理的な維持管理を進める必要がある。また、現在の指定管理者である周南市体育協会の維持管理部門においては、その体制を強化・充実をさせる必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

老朽化した公園施設の補修・改修や生長した樹木の剪定等が課題となっているが、平成27年度から実施している公園施設長寿命化対策事業との調整を図りながら、優位性を考慮し、効率的な改修工事等を計画的に進め、安全・安心で魅力あるレクリエーションの場を提供する。周南緑地(東・中央)指定管理は、平成28年度～平成32年度の5年間、引き続き「周南市体育協会」へ委託し新たに嘱託職員1名分を含む指定管理料とする。(1,795千円増)

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271011	事務事業名	永源山公園建設事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)公園・緑地の整備			【公園や緑地などの整備】	52.40%
	推進施策の展開	「緑の基本計画」に基づき、市民の安心・安全の確保の視点から防災拠点としての機能にも配慮して、公園・緑地等の適正な配置と計画的な整備・保全を図ります。緩やかなスロープや多目的トイレの設置など、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設の整備を図ります。			25年度市民評価の満足度	【公園や緑地などの整備】 53.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 永源山公園(総合公園)	意図(どういう状態にしたい): 市民のレクリエーションやコミュニティの場として安全安心で、気軽に利用できる公園として計画的な整備を行うとともに、適切な管理を行い、公園機能の充実を図る。	事業の内容 (手段)	長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改築・更新を行うとともに、地域防災拠点としての防災機能を充実させる。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	開園後相当年数が経過した幼児広場を改築・更新 公園施設幼児広場整備工事 3件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費		千円	15,001	33,000	79,435		89,500	25,500					
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	801	4,500	9,135	15,400	6,500
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	15,000	15,000	34,159	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	330,000.0	330,000.0	330,000.0	330,000.0	330,000.0	(決算額)	うち一財	千円	800	3,759	施設改修工事の増		施設改修工事の減
	実績値	324,000.0	353,464.0	334,000.0			正職員人件費	千円	7,691	6,286				
	達成度(%)	98.2%	107.1%	101.2%			人工数	人	1.05	0.85	0.77			
							支出コスト	千円	決) 22,691	決見) 40,445				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	補助金関係事務 (施設等整備事業)	永源山公園施設	整備事業財源の確保	円滑な都市計画事業の推進	財源の確保	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業実施において計画的な予算の確保を図ること。						細事業評価							
	B	改善案	予算の確保											
②	実施設計事務 (施設等整備事業)	永源山公園施設	長寿命化計画に基づいた老朽化施設の改築・更新実施設計の委託	老朽化施設の計画的な改築・更新による公園利用者の安全の確保及びライフサイクルコストの削減を図る。	実施設計	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業実施において計画的な予算の確保を図ること。						細事業評価								
B	改善案	予算及び人員の確保												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	開園(昭和60年)後約30年が経過しており、施設の老朽化が進み、長寿命化の観点に立った計画的な改築・更新が必要。 平成20年度から指定管理制度を導入している。 【整備状況】南エントランス及びメインエントランスの園路、広場、駐車場の整備を実施し、平成25年度より供用を開始した。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	地域防災拠点として位置づけられており、多方面からのアクセス確保と、防災施設の設置等防災機能の充実が求められている。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公園施設の健全度を把握し、ライフサイクルコストを縮減するため長寿命化計画に基づき、早期に改築・改修が必要な施設について整備を進める。	改善案	補助事業を活用し、改築・更新を円滑に進める。(社会資本整備総合交付金)

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 公園施設の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減に向けて、予防保全的管理による長寿命化対策を含めた計画的な整備を進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600301
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
公園の利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した施設の修繕、改修を迅速かつ計画的に進める必要があることから、平成28年度は補助事業を活用し、プール広場リニューアル工事と施設の長寿命化対策工事を行うとともに、緊急性の高い補修部分の改修工事の実施(89,500千円)。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271015	事務事業名	周南緑地公園整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)公園・緑地の整備			【公園や緑地などの整備】	52.40%
	推進施策の展開	「緑の基本計画」に基づき、市民の安心・安全の確保の視点から防災拠点としての機能にも配慮して、公園・緑地等の適正な配置と計画的な整備・保全を図ります。緩やかなスロープや多目的トイレの設置など、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設の整備を図ります。			25年度市民評価の満足度	【公園や緑地などの整備】 53.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南緑地(緩衝緑地)	意図(どういう状態にしたい): 周南地域の中核となる都市公園であり、スポーツ交流の拠点、憩いの空間として市民に親しまれ、安全・安心・快適で魅力のある公園として計画的な整備を行う。	事業の内容 (手段)	周南緑地基本計画に基づく実施設計及び施設整備工事の実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	スポーツ・レクリエーションにおける広域拠点として、バリアフリー化による施設整備 幹線園路等整備工事 2件(L=148m)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	42,000	31,500	28,963	64,337		142,500						
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	13,500	3,000	14,763	13,637	24,700
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	39,758	29,406		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	800,000.0	800,000.0	800,000.0	800,000.0	800,000.0	(決算額)	うち一財	千円	10,758	2,806	メインエントランス整備	メインエントランス整備	
	実績値	700,000.0	700,000.0	700,000.0			正職員人件費	千円	7,691	6,286				
	達成度(%)	87.5%	87.5%	87.5%			人工数	人	1.05	0.85	0.68			
							支出コスト	千円	決) 47,449	決見) 35,692				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 補助金関係事務 (施設等整備事業)		周南緑地施設	整備事業財源の確保	円滑な都市計画事業の推進	財源の確保	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		事業実施において、計画的な予算確保を図ること。			B	改善案	予算の確保						
	② 工事(園路整備・植栽) (施設等整備事業)		周南緑地施設	幹線園路のバリアフリー化整備	幹線園路のバリアフリー化整備によって、利用者の安全安心と利用環境の改善を図る。	バリアフリー化による円滑な施設の利用	0.8	0	29,406	可	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価									
		計画的に事業を推進すること。			B	改善案	予算及び人員の確保							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成19年度 フレンドパーク開設 平成20年度 全天候型庭球場(18面) 平成22年度 「周南市緑地公園施設長寿命化計画」策定 平成23年度 野球場リニューアル 平成24年度 徳山自動車学校跡地購入(約2.3ha) 「周南緑地基本計画」策定	前年度までの指摘事項	24年度に基本計画を策定することのだが、財政状況が厳しく、公共施設の統廃合を進めていく中で、市民の理解が得られる計画とすること。ライフサイクルコストを計算し、将来負担を明らかにされたい。	指摘事項に対する改善状況	平成24年度に策定した周南緑地基本計画に基づき、ライフサイクルコストに基づく基本設計、実施設計を行いたい。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県を代表する広域スポーツ拠点として、様々な競技スポーツができる質の高い運動施設の整備が求められている。 ・地域ニーズとして、老朽化したプール改修、陸上競技場やサッカー場の環境改善の要望がある。 ・周南緑地基本計画において、プールや陸上競技場の長寿命化対策となる改築・更新が必要とされている。 ・大規模なイベントや競技会等だけでなく、日常的にも緑地園路への路上駐車が発生している。 ・広域防災拠点として位置づけられており、多方面からのアクセス確保と、防災施設の設置等防災機能の充実が求められている。 	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	周南緑地基本計画に基づき、公園の整備を進めていくが、中・長期的な事業であり、計画的・効率的な取組みが必要である。	改善案	補助事業を活用し整備を円滑に進める。(社会資本整備総合交付金)

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 周南緑地基本計画や長寿命化計画に基づき、公園利用者の安心・安全と施設の更新を図るため、計画的なリニューアル事業を進めていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600301
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
公園の利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した施設の修繕、改修を迅速かつ計画的に進める必要がある。平成28年度は補助事業を活用し、周南緑地基本計画に基づき、メインエントランスの整備等を行う。施設更新・補修工事の実施(64,337千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271022	事務事業名	鹿野天神山公園整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	—			【公園や緑地などの整備】	52.40%
	推進施策の展開	「緑の基本計画」に基づき、市民の安心・安全の確保の視点から防災拠点としての機能にも配慮して、公園・緑地等の適正な配置と計画的な整備・保全を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【公園や緑地などの整備】	53.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 鹿野天神山公園(普通公園)		意図(どういう状態にしたい): 中山間地域の拠点となる公園・緑地として適切な維持・管理と公園機能の充実を図る。		事業の内容 (手段)	・周南市過疎自立促進計画に基づき、平成23年度から27年度の5年間で計画的な山桜の植栽等による景観整備を行う。 ・開設後20年を経過し、老朽化した各施設の計画的な修繕、再整備を行う。 ・ふれあい広場の修景整備や山桜の植栽を進め、周南市北部地域のコンベンションゾーンとして整備を行う。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	開設後20年を経過した施設の計画的な修繕、再整備 (1)教職員住宅解体設計業務委託 (2)教職員住宅解体工事 (3)植栽整備工事 (4)天神山公園整備工事(デッキ・回廊等施設整備) (5)遊歩道測量業務委託及び設計業務委託						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	0	20,000	13,000		5,000	20,000					
事業目標	目標名	景観整備進捗率	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	0	0	500	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	0	1,015		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	正職員人件費	千円	733	3,328		公園整備工事の減	公園整備工事の増	
	実績値	20.0	30.0	10.0			人工数	人	0.10	0.45	0.45			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 733	決見) 23,243				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	公園整備事務 (ソフト事業)	鹿野天神山公園施設	公園機能の充実	老朽化に伴う各施設の計画的な修繕、再整備	遊歩道の改修設計実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.05	0	0	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業財源の確保					B	改善案	過疎債を活用した整備を進める。					
②	過疎計画関連事務 (施設等整備事業)	鹿野天神山公園施設	過疎計画に基づく事業の進捗	過疎計画に基づく鹿野天神山公園の整備	教職員住宅解体完了			0.4	0	19,915	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 計画した事業の予算が確保できないこと。					B	改善案	過疎債を活用した整備を進める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 経年による施設の老朽化 開設時に植栽したソメイヨシノ(300本)のテングス病感染 	
	<ul style="list-style-type: none"> 公園入口の旧東教員住宅は、廃止後放置されており、景観上のみならず、治安上(火災・犯罪)や衛生上(不法投棄)の問題が発生している。 整備後約20年を経過し、大雨による園路や法面の陥没・崩壊箇所が多く見られる。 ポケットパーク等の広場を活用した民間等が主体となった集客イベントの開催をするなど、周辺地域との関連づけを高め、互いの利用の促進が必要。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年の開設から20年以上を経過しており、段階的な修景整備、施設整備が必要になっている。 周辺の観光施設(せせらぎ・豊鹿里パーク)、石船温泉等)との一体的な利用の促進

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 鹿野地域における中核的な公園であり、地域利用者のニーズを捉えた中で、プライオリティーに基づく事業を進める。	改善案 ・弾正系桜をはじめとして、天神山公園を桜の名所として位置づけるため、観光資源、市民の憩いの場となる植栽工事を行い、景観の整備を進める。 ・利用者の体力や嗜好に合わせたランニングルートやウォーキングルートなどの設定やイベント等ソフト事業の実施を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	レクリエーションゾーンの多目的広場やテニスコートは、現在かの高原開発(株)に委託し管理しているが、今後は、鹿野天神山公園から分離し、せせらぎ豊鹿里パークの帰属施設として一体的に管理することが望ましい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600301
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
鹿野天神山公園は、鹿野地域の核となるエリアとして公園機能の充実を図る必要がある。平成28年度は、過疎対策事業債を活用し、清流通り等改修工事を実施する。(5,000千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271032	事務事業名	永源山公園イベント事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】 %
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 永源山公園(総合公園)	意図(どういう状態にしたい): 市民参加による実行委員会を中心としたイベントを開催することにより、地域のふれあいの場を提供し、公園の利用を促進するとともに、地域の活性化を促す。	事業の内容 (手段)	実行委員会主導によるイベントの開催 ・5月 つつじ祭り ・10月 ゆめ風車まつり ・10月 チューリップ満開作戦		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	実行委員会主導によるイベントの開催 ・5月3～5日 つつじ祭り(フリーマーケット、バザー、ステージイベント、飛行機選手権 大道芸ほか) ・10月14日 ゆめ風車まつり(台風接近に伴い中止) ※チューリップ満開作戦 (10/30)は雨天中止						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	1,410	1,410	1,410	1,310		1,310							
事業目標	目標名	イベント来場者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,410	1,410	1,410	1,310	1,310	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,410	910	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0	(決算額)	うち一財	千円	1,410	910				
	実績値	47,381.0	53,000.0	30,000.0			正職員人件費	千円	5,860	5,694					
	達成度(%)	94.8%	106.0%	60.0%			人工数	人	0.80	0.77	0.77				
	支出コスト	千円	決) 7,270		決見) 6,604										
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	①	つつじ祭り (ソフト事業)	永源山公園	市民が主体となった実行委員会による開催によって、市民と行政が一体となって、地域のふれあいの場を提供する。	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	来場者数 30,000人	正職員	臨時等	810	810	可	可			
							0.33	0.1							
	細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 3日間連続のイベントであり、準備や後始末等の業務量が多く、通常業務に支障をきたしている。イベント初日の来客数が最も多く、駐車場が不足している。					B	改善案	イベント開催日数の見直し						
	②	ゆめ風車祭り (ソフト事業)	永源山公園	市民が主体となった実行委員会による開催によって、市民と行政が一体となって、地域のふれあいの場を提供する。	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	台風接近に伴い中止	正職員	臨時等	0	0	可	可			
0.28							0.05								
細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 開催日の設定に関して、他イベントと同日開催であり、集客を考えると分散させるということも検討すべきか。					B	改善案	細事業評価 体育の日の前日に開催							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
③	チューリップ満開作戦	(ソフト事業)	永源山公園	国際交流意識の高揚を図るとともに幼児等の情操を豊かにすること。	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	雨天中止	0.16	0.05	100	可	可	
	■ 妥当性											■ 有効性
細事業の課題	新南陽地区の幼稚園にのみ参加案内をしているが、菊川地区からの参加要望もある。					B	改善案	事業の目的に鑑み、本来であれば全市的に募集をすべきだが、スペースや経費面で事業を拡大することは難しく、現状で継続したい。				
④												
	□ 妥当性	□ 有効性	□ 効率性	□ コスト	□ その他		改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	いずれの行事も旧新南陽市からのイベントを引き継いで開催しているもので、つつじ祭りは周南市の春の一大イベントとして定着している。			市民との協働で開催している事業である。実行委員会の主体的な取組みを強化されたい。
				各イベントの実行委員会において、組織体制や企画力の強化を図る必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	地域の活性化と観光振興に寄与するものであり、実行委員会との連携による市民参画事業でもあるので、当面継続的に開催していく。
			改善案	イベントの運営を円滑に行うため、今年度からバザーやフリーマーケットの参加負担金をアップし、市補助金だけでなく自主的な財源を確保した。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	つつじ祭りやゆめ風車祭りは、従来から実行委員会方式で開催されており、地域の活性化にも寄与していることから、今後も継続して実施していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
前年度に引き続き、実行委員会と連携した取り組みを進める。「チューリップ満開作戦」は、平成28年度から指定管理者業務へ移行するためチューリップ球根代を指定管理料へ組み替え減。(△100千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	271062	事務事業名	都市緑化推進事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)緑化の推進			【実施なし】	%
	推進施策の展開	・花いっぱい運動を市内全域で展開します。 ・市民の緑化意識の更なる高揚と人材の育成を図るとともに、緑化活動の仕組みを整備し、市民と行政の協働による緑化を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 花とみどりに関する情報の普及を行うとともに、花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、緑化意識の高揚を図る。	事業の内容 (手段)	(都市緑化推進事業) ・緑化資材の供給と花の栽培管理事業 ・花壇コンクール(生涯学習課と共催) ・花とみどりの相談支援事業 ・花とみどりの地域リーダー養成講座 ・種から育てた苗で花壇づくり ・京都大学連携事業	【実施なし】 %	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	(都市緑化推進事業) ・緑化資材の供給と花の栽培管理事業:各ストックヤードへのチップ運搬・花壇コンクール(生涯学習課):27団体参加 ・花とみどりの相談支援事業:0件 ・花とみどりの地域リーダー養成講座:4回開催、延べ26人参加 ・種から育てた苗で花壇づくり:参加12団体 ・京都大学連携事業3回開催、延べ231人参加				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	3,353	3,245		3,310	3,454	3,454					
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,353	3,245	3,184	3,258	3,454
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,933	2,947	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値						(決算額)	うち一財	千円	2,933	2,937		
	実績値						正職員人件費	千円	3,663	2,810			
	達成度(%)						人工数	人	0.50	0.38	0.38		
							支出コスト	千円	決) 6,596	決見) 5,757			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否		
	①	緑化資材の供給と花の栽培管理事業 (ソフト事業)	市民	市民との協働による緑化の推進	都市緑化の推進	育苗団体で育成した花苗の地域花壇への配布やストックヤードのチップ化資材を活用	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 ソフト事業からどう実践していくか、リーダーとなる人の養成が必要。				B	改善案	実践的な研修の実施。					
	②	花とみどりの相談支援事業 (ソフト事業)	市民	花とみどりに関する相談についてアドバイスを行うとともに、緑化に関する啓発・普及を行う。	都市緑化の推進	花の専門家を現地に派遣し、花の栽培、育苗に関する支援を実施	0.01	0	0	否	否		
	細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 愛護会講習会等でPRLしているが、地域からの相談や要望はない。				D	改善案	市民ニーズの低い事業なので、来年度から廃止したい。					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事業業務目的	事業業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
③	花とみどりの地域リーダー養成講座	(ソフト事業)	市民	地域で花や緑に関する活動の中心的役割を担う人材を育成する。	都市緑化の推進	年4回、土作り、肥料、種まき、管理の仕方などについて講師による研修会を開催	.09	0	122	否	否	
	細事業の課題											■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 リーダーとなる人の要請が必要。
④	種から育てた苗で花壇づくり	(ソフト事業)	市民	地域の花壇を管理する方に種から花を育てることを学んでもらう。	都市緑化の推進	公民館・公園・道路などの花壇で花づくりをしている団体に対し、花の種子、培土、プラグトレイを配布した。	0.05	0	35	否	否	
	細事業の課題											■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 参加団体が減少傾向にある。
⑤	京都大学連携事業	(ソフト事業)	市民	京都大学の社会貢献を支援するとともに、教育研究資源を有効的に活用する。	都市緑化の推進と専門的知識を持った人材の育成	公開講座と連携講座を開催	0.15	0	78	否	否	
	細事業の課題											■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 連携講座参加者の満足度は高いが、リピーターの参加が多い。

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	類似事業の調整を行い、花いっぱい運動の充実を図られたい。	指摘事項に対する改善状況	花壇コンクールは生涯学習課で所管し、主体的に進めているが、花とみどりに関わる独自の都市緑化推進各事業については当該で継続的に取り組んでいく。
	平成21年度に開始した「花いっぱい緑化活動推進事業」を平成24年度から「都市緑化推進事業」に名称変更した。				
	細事業の課題・問題点	各地域の緑化を率先して進める人材の育成	事業全体の課題・問題点	本事業は、市民参加による緑化活動を啓発することを目的としていることから、短期間での成果は期待できないものの、継続的に実施することが必要である。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案	関係機関、関係部署との連携を強化し、多面的に事業を推進する。
			効率的に成果の上がる事業とするため、庁内関係部署と調整しながら、一体的な取り組みとして、都市緑化推進の各事業を展開したい。		

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	市民参加による緑化活動の推進・啓発と緑豊かな環境整備のため、市民及び関係者との協議により事業を継続的に実施している。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600303
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(3)緑化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度は、周南市の顔であるシンボルロードの景観づくりを進めるため、岐山通りシンボルロード花壇の維持管理業務の充実を図る。チップ利用促進経費及び樹名板設置資材費増(157千円)

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	272010	事務事業名	緑のリサイクル事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)緑化の推進			【実施なし】	%
	推進施策の展開	花いっぱい運動を市内全域で展開します。			25年度市民評価の満足度	
					【実施なし】	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公園緑地の樹木、街路樹、花壇管理団体、育苗団体		意図(どういう状態にしたい): 公園・街路樹等の維持管理で発生する剪定枝、伐倒木等については、ゴミとしてではなく資源として捉え、地球環境にやさしく、最小の費用で活用を図る。この事業により、公園・緑地・地域花壇の緑化促進資材として、公園緑地分野の循環型社会の形成を目指す。		事業の内容 (手段)	公園・街路樹等の維持管理で発生する剪定枝、伐倒木等を指定場所に集積し、木材破砕処理機によりチップ化し堆肥化したものを、公園緑地・地域花壇の緑化促進剤として活用する。 ストックヤード4箇所:徳山・新南陽地区=ベガス、周南緑地 熊毛地区=高水原、鹿野地区=石鍋団地

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・維持管理業務において、街路樹路線(56路線)や公園の維持で発生した剪定枝葉、伐倒木をチップ化した。(700㎡) ・チップ化したものを緑化推進資材として、市の公園緑地や地域の花壇等での活用を図った。(利用26団体)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,500	4,500	4,828	4,819		4,819						
事業目標	目標名	維持公園箇所数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,500	4,500	4,828	4,819	4,819
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,463	4,482		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	162.0	163.0	163.0	163.0	163.0	(決算額)	うち一財	千円	4,463	4,482			
	実績値	162.0	163.0	163.0			正職員人件費	千円	1,831	2,071				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.25	0.28	0.33			
							支出コスト	千円	決) 6,294	決見) 6,553				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	木材破砕処理業務委託 (施設管理運営事業)	公園緑地の樹木、街路樹、花壇管理団体、育苗団体	公園緑地分野での循環型社会の形成	公園緑地・地域花壇の緑化促進剤としての活用	チップ化量700㎡ 利用26団体	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価							
	細事業の課題	リサイクル事業への取り組みとチップ材の活用について、市民への周知や普及拡大が必要である。					B	改善案	・市民への事業の周知と団体利用者の拡大。 ・地域花壇や公園、街路樹等自主管理する花壇の堆肥として有効的な活用を進めること。					
②														
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度から事業を開始、環境事業としての効果は大きい。	前年度までの指摘事項	費用対効果を検証しつつ事業を推進する。また、チップ材の有効活用についても検討すること。	指摘事項に対する改善状況	これまでの実績では、年間約700㎡がチップ化され、愛護会等花壇づくりの団体が堆肥として利用している。今後もコストに配慮し、事業の効率性を高めたい。
	細事業の課題・問題点	・リサイクル事業への取り組みとチップ材の活用について、市民への周知や普及拡大が必要である。		事業全体の課題・問題点	・市民への事業の周知と利用団体数の拡大	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	循環型社会の構築を目指す中、焼却せずに資源化・再利用することは有意義であり、処理コストの面からもメリットがある。今後は、環境に配慮した公園・街路樹等の維持管理を実施するとともに、事業実施においてチップ材の有効活用を推進する。	改善案	市広報、ホームページ等による市民への情報提供及び各種イベントを活用したチップ材周知と配布や提供を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 低炭素社会の実現に向けた取り組みであり、本事業は重要な役割を担っている。今後はさらなるチップ材の利活用を推進する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600303
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(3)緑化の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
緑のリサイクル事業の周知とチップ堆肥の一層の有効活用を図るため、市のホームページ及び市広報でPRするとともに、市内で開催されるイベント会場での無料配布を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	513020	事務事業名	児童福祉施設管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】 %
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童遊園50箇所	意図(どういう状態にしたい): 子どもたちが安心して利用できるレクリエーションやコミュニティの場を確保するため、児童遊園の適切な維持管理を行う。	事業の内容(手段)	対象児童遊園50箇所 児童遊園の借地契約事務(借地契約件数10件)、施設の修繕、遊具の点検等		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	遊具の安全点検(点検回数:各施設6回) 主な修繕:野村開作東児童遊園フェンス修繕外416千円 主な工事:中開作児童遊園原状復旧工事外1,499千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費		千円	2,609	2,905	2,766		2,772	2,772					
事業目標	目標名	遊具の点検回数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	2,593	2,889	2,750	2,761	2,761	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,490	4,325		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	(決算額) うち一財	千円	2,459	4,297				
	実績値	6.0	6.0	6.0			正職員人件費	千円	2,271	2,292				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.31	0.31	0.41			
							支出コスト	千円	決) 4,761	決見) 6,617				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	児童福祉施設管理事業 (施設管理運営事業)	児童遊園50箇所	子ども達が安心して利用できるよう、児童遊園の適切な維持管理を行う。	子ども達が安心して利用できる遊び場を確保する。	・遊具の安全点検を実施(点検年6回) ・野村開作東児童遊園外修繕416千円 ・中開作児童遊園工事1,499千円	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が進んでおり、地元管理では対応できない修繕等が増えていく傾向にある。						細事業評価							
							B	改善案	予算の確保					
	②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	児童の健全育成のため、安全な遊び場の提供や整備が求められているが、車社会の熟成や遊び場自体の魅力の問題から、利用度合いは低下傾向にある。	前年度までの指摘事項	利用対象者が減少してきており、見直しを進めるべきである。借地の解消についても検討を進められたい。	指摘事項に対する改善状況	利用状況を把握し、地域特性に応じた利用の向上を目指す。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 合併後、利用の少ない6箇所の児童遊園を地域の合意に基づき廃止している。 児童遊園用借地料として8箇所、年間約1,700千円の経常経費を要している。 遊具施設等の老朽化に伴い、施設の安全管理に対する要求が高くなっているが、人員不足により十分な点検ができていない状況。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度末現在、50箇所の公園を管理しているが、約90%は、設置後25年を経過し、遊具、設備等の老朽化が著しい施設もある。今後、維持管理経費(修繕費・委託料)を抑えつつ、耐用年数を超えた大量の児童遊園施設の改善を進めるかが課題となっている。 児童遊園は地域に密着した一番身近な憩いの場であり、開設当初から地域住民の協力を得て、草刈、清掃等の維持管理が行われてきたが、少子高齢化に伴い、年々その維持管理を取り巻く環境は厳しい状況下にある。今後は、地域住民に協力・理解を得て維持管理をどのように進めていくかが課題となっている。 利用が少ない遊園もあるが、統廃合を進める場合、地元との合意形成が必要である。 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	児童の健全な成長を図るために設置された公園であり、地域のコミュニティ活動の場にもなっており、安全性の確保と快適な環境を維持・向上させるために、現状を維持する。反面、個別施設の利用状況を踏まえた上で、将来的な方向性を検討する時期に来ている。	改善案	児童がいつでも安全・快適に使用することができるよう適正な管理を行うことが必要で、危険な遊具については、撤去・修繕に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 小規模な都市公園や児童遊園については、旧市町で整備状況にバラツキがあるが、公園施設の維持管理においては、子どもをはじめ利用者の安全安心な利用ができるよう、適切な管理を行う必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
児童遊園は地域に密着した一番身近な遊び場であるが、地元住民の少子高齢化に伴い、自主的な維持管理が年々難しくなっている。平成28年度は、固定資産税評価額が下がっているため土地借上料(△65千円)が減額となったものの、施設維持工事分も修繕料で対応するため施設等修繕料(100千円)が増額。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	714041	事務事業名	農村公園管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI21 緑の空間の創造	基本方向	防災機能をはじめとした多様なニーズに対応した公園・緑地の整備を図るとともに、市民と行政の協働による都市緑化を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)公園・緑地・街路樹の維持・管理			【実施なし】	%
	推進施策の展開	市民団体等との協働により、市民が安心・安全で快適に利用できるよう公園・緑地等の適正な維持・管理を進めていく。			25年度市民評価の満足度	【実施なし】 %
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 農村公園6箇所(鹿野地域)	意図(どういう状態にしたい): 農村地域の市民のレクリエーションやコミュニティの場として利用されている、農村公園の適切な維持管理を行う。	事業の内容 (手段)	鹿野地域6箇所の農村公園の維持管理業務 ・大潮農村公園 ・西河内農村公園 ・本町農村公園 ・石船農村公園 ・大泉農村公園 ・田原農村公園		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・6ヶ所の農村公園の管理 ・一部の農村公園においては都市住民の利用もあり、都市と農村の交流の場として、また、地元住民のレクリエーションの場として有効的に利用されている。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
							直接事業費	千円	491	500	503	506	506		
事業目標	目標名	農村公園管理数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円	491	500	503	506	506
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	465	487	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	(決算額)	うち一財	千円	465	487				
	実績値	6.0	6.0	6.0			正職員人件費	千円	73	74					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.01	0.01	0.01				
							支出コスト	千円	決) 538	決見) 561					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	① 農村公園管理事業 (施設管理運営事業)		農村公園6箇所	住民の健康増進と憩いの場としての利用のため適切な維持管理を行う。	適切な管理により、農村居住者の健康増進と憩いの場を提供する。	6ヶ所の農村公園の適切な維持管理の実施		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 住民の安全な憩いの場の確保のため、適切な維持管理と安全点検等の実施が必要である。			B	改善案	地域性に配慮しながら、地元市民の力を得て適切かつ効率的な維持管理を進めていくこと。							
	②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案	細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域の憩いの場(地域の祭事やランドゴルフ等)として利用されており、地域活性化への一助となっている。	前年度までの指摘事項	引き続き適正な管理運営を行われたい。	指摘事項に対する改善状況	引き続き適正な管理を行う。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化		事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 現状の維持管理は利用上最低限のものである。 農村環境整備を目的に設置したものであるが、荒廃が著しく、地元集落の利用も少ない一部の公園については存続意義の検討を要する。 	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	・地域住民の健康増進とコミュニティ活動の場としての存在は非常に重要であり、引き続き適切な維持管理を行う。	改善案	予防保全的な維持管理の実施

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 中山間地域の拠点となる公園として、適切な維持管理を行い、地域のコミュニケーションや、地域の活性化を促す地域活動の場として、さらなる公園機能の充実を図る必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600302
分野	6都市基盤
基本施策	3緑の空間の創造
推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし。

備考